FGC NEWS
公益財団法人 世界こども財団
FGC−Foundation for Global Children
No.36
March
2024

アフリカとアジアの架け橋を！ ウガンダのこどもたちへの支援活動

世界こども財団の新しい取り組みとして、アフリカのウガンダ共和国での支援プロジェクトを開始しました。

ウガンダの北部にあるオモロ県には、日本とウガンダの人々が協力して建設した **KOMOREBI 小学校**があります。オモロ県は雨季と乾季の気候の変化が激しく、雨季には川が増水して道が冠水するためこどもたちは道を通れず、学校に行けなくなってしまいます。小学校を創設した NPO 法人五条クラブと協働し、こどもたちが安全に学校に通えるよう、通学路に橋をかけ、さらに学校の教室の増設や、継続的な交流を目指して活動していきます。

こどもたちが安全に渡れる橋をつくるということは、これまで星槎グループが取り組んできたアフリカとアジアの架け橋、SEISA Africa Asia Bridge の具現化だと考えています。

2023年12月　ウガンダ現地渡航

2023 年 12 月 21 日から 28 日にかけて、世界こども財団職員がウガンダ共和国に渡航しました。小学校のあるオモロ県は、首都カンパラから北へ約 350km、車で 6、7 時間の位置にあります。とてものどかな農村といった印象でしたが、一方で過去約 20 年にわたって紛争に苦しんできたという歴史もあり、こどもたちへの教育がいま特に求められている地域でもあります。

KOMOREBI 小学校の校舎

教室とこどもたち

ウガンダ共和国について

ウガンダは、アフリカ大陸の東側にある赤道直下の国です。標高 1200m に位置し、平均気温は 23℃です。一年は雨期（10 月～ 12 月と 3 月～ 5 月）と乾期に分かれています。国の大きさは日本の本州とほぼ同サイズ、人口は約 4 千 4 百万人です。別名「アフリカの真珠」と呼ばれるほど、美しく自然あふれる国です。一方で、乳幼児死亡率の高さ、母子の健康不良、女の子の早すぎる妊娠の増加、水や衛生設備の不足、また教育においては初等教育の修了率の低さなど、多くの課題も抱えています。

橋の建設へ向けて

渡航中、現地では小学校や橋の建設予定地の視察を行いました。

右側の写真のように土地がくぼみ、湿地帯となっている場所があります。この場所が、雨季になると冠水してしまう箇所となります。訪問した 12 月は乾季にあたりますが、歩いてみると膝のあたりまで足が沼地にはまってしまい、とても渡ることができませんでした。通学路の整備と橋の建設は急務であると実感することができました。

包括連携協定の締結

渡航前には、駐日ウガンダ共和国大使を公式訪問し、この支援プロジェクトをウガンダ政府公認のものとしてバックアップするとのお言葉をいただきました。

駐日ウガンダ共和国大使館のご協力により、ウガンダ滞在中に、今後の KOMOREBI 小学校支援における協働のため、現地オモロ県行政の最高責任者と、NPO 法人五条クラブの池田博貴代表、そして世界こども財団　土屋恵三郎理事長の三者による包括連携協定を締結し、現地メディアの取材も入りました。

クラウドファンディングを実施
目標500万円を達成！

支援活動の開始に合わせ、2023 年 11 月から 2 か月間実施しましたクラウドファンディングでは、多くのご支援をいただき、最終的に 508 万 1302 円、目標に対し 102％を達成することができました。

みなさま、ご協力をいただき本当にありがとうございました。

今回の渡航では、たくさんのこどもたちのキラキラした笑顔に出会うことができました。同時に、厳しい現状も知ることができました。

今年度は、いただいたご支援がしっかりとこどもたちの支援、そして彼らの未来へとつながるよう、さらに力を入れて活動を進めていきます。今後ともご支援のほど、よろしくお願いいたします。

12年の集大成！
相馬サッカー交流プログラム開催

星槎グループおよび世界こども財団が東日本大震災以降、現在まで継続してきた支援交流活動のひとつに、福島県でのサッカー交流プログラムがあります。今回、2024年1月13日、14日の2日間、相馬市でプログラムが実施されました。初日は指導者講習にはじまり、午後は会場を移し、日本人初のプロサッカー選手である奥寺康彦さん、長年代表選手を含むサッカー選手の育成に携わられ、星槎のサッカー交流にもご協力いただいている大野真さん、そしていわきFCチームドクターの山本奈内子さんによる講演会が開催されました。また、星槎国際高等学校の尾﨑達也事務長からは東日本大震災以降の星槎グループによる支援活動の総括の報告がされました。会場には相馬市の立谷秀清市長も駆けつけ、長年の支援について感謝の言葉が贈られ、また相馬市サッカー協会からの感謝状も贈呈されました。

奥寺康彦さんと「星槎奥寺カップ」優勝の相馬FCメンバー

2日目は「星槎奥寺カップ」を開催、小学校3、4年生の9チーム、約100名が参加し、大会を通して多くの交流が生まれました。12年間にわたるサッカーを通した交流支援の集大成ともいえる2日間となりました。

「共感理解教育と日本文化活動」
JICA 日系社会研修員受入事業を実施しました

2024年1月15日から1か月間、昨年に引き続き、JICA（独立行政法人 国際協力機構）横浜との協働で、中南米地域の日系社会と日本の連携に主導的な役割を果たす方を受け入れる日系社会研修プログラムを実施しました。今年度は、ブラジルで英語教師として教育の現場で活躍する日系3世の横田シンチアかおりさんが研修員として選ばれました。横田さんは、日本の教育現場や共感理解教育を知りたいという希望を持ち来日されました。

研修では、星槎の教育機関を訪れ、先生方の生徒への温かい声がけやフレンドリーな雰囲気作り、一人一人の生徒の個性に合った対応を目の当たりにし、共感理解教育の重要性を深く理解しました。日本の教育現場で取り入れられている、室内で靴を脱ぐことや清掃習慣は、自分の落としたゴミは自分で拾うという意識を芽生えさせるという点でブラジルの教育現場でも取り入れるといいと思うと話していました。

また、日本文化体験では、神道と仏教の違いや和太鼓の演奏に感動し、生け花の技術にも触れることで、日本の文化を守る大切さについて再認識し、ご自身の日系人としてのアイデンティティがより強いものになりました。

横田さんは、持ち前の社交性と積極性を発揮して、行く先々で暖かく迎えられました。また、ブラジルでは滅多に見られない雪を見られたことにも大変感動されていました。帰国後は、職場の同僚、生徒や所属している北海道県人会の方々、そしてSNSなどを通して多くのブラジル人に、さまざまな日本の側面を伝えていきたい、今回の研修に参加して本当によかったですと語り、帰国の際には研修で関わった様々な方達に感謝の言葉を述べました。

JICAでの修了式にて
横田シンチアかおりさん

星槎国際鴨居学習センターを訪問

卒業生

エリトリアのデジェンさん大活躍!鹿児島マラソン優勝

星槎のスポーツ奨学生として 2017 年にエリトリアから来日し、星槎国際高校湘南、星槎大学へと進み、昨年卒業を迎えたデジェン・テスファレム・ウェルドゥさん。デジェンさんは卒業後、ご縁をいただき鹿児島の企業、南薩東京社に就職し、会社の陸上チームで引き続きアスリートとしての活動を続け、地域の大会で優勝し新聞に掲載されるなど、昨年からさっそく頭角を現しました。会社のみなさんに温かく見守られ、仕事にも取組み、また地域のこどもたちとの交流なども楽しんできました。

そのデジェンさんが、初のフルマラソンで素晴らしい快挙を達成しました。

2024 年 3 月 3 日に開催され、フルマラソンに約 7,400 人が参加した「鹿児島マラソン」で、2 時間 14 分 50 秒で初優勝を果たしました。デジェンさんの活躍は地元メディアでも大きく取り上げられ、ニュース放映もされました。

社会人として仕事にも励むデジェンさん

世界こども財団、そして星槎の仲間としても、卒業生の素晴らしい躍進に心が躍りました。

デジェンさんの今後の活躍にぜひ、ご期待ください。

鹿児島マラソン優勝の瞬間

表彰式でのデジェンさん

事務局より

2024年度　個人会員・法人会員を募集しています

1 月より世界こども財団の新年度がスタートしました。
昨年度は 441 名もの個人会員、90 社 / 団体の法人会員・協力企業のみなさまに支えられ、活動を行ってまいりました。
今年度におきましても私たちと一緒に世界のこどもたちに手を差し伸べる「仲間」を募っております。
こどもたちの未来を創る活動に、ぜひご参加ください。

● 賛助会員

個人会員	年会費	6,000 円 / 一口
法人会員	年会費	120,000 円 / 一口

・ご寄付

金額を問わず、随時受け付けております。

・寄付型自動販売機設置のお願い

現在、世界こども財団では各飲料メーカーと提携し、「寄付型自動販売機」を積極的に展開しています。
購入頂いた飲み物の売り上げの一部が当財団に寄付される仕組みとなっており、こどもたちの未来へと繋がっています。
自動販売機の設置費用や管理運営等はございません。
少しでも興味のある方、設置しても良いという方、是非ともご連絡をお待ちしております。

詳しくは、世界こども財団のホームページ、またはお気軽に事務局までお問合わせ下さい。

2024 年 3 月発行
公益財団法人
世界こども財団

〒 259-0111　神奈川県中郡大磯町国府本郷 1805-2（星槎グループ内）
TEL. 0463-74-5359　FAX. 0463-74-5374　E-mail: fgc@fgc.or.jp
ホームページ：http://www.fgc.or.jp　Facebook：「世界こども財団」で検索！
制作：岡村直実（JC ユニット）